

わがまちみらいマネジメント講座

会議の見える化講座 実施報告書

- 1 日 時 平成 31 年 2 月 24 日（日）10 時～16 時 00 分
- 2 会 場 長崎市消防局 5 階講堂（長崎市興善町 3-1）
- 3 講 師 畠中 智子氏
（株式会社わらびの 代表取締役）
- 4 開催目的 地域活動のリーダー等を対象として、地域活動における運営能力の向上や地域活性化に効果的な手法の習得を目指す
- 5 テー マ 「ファシリテーション・グラフィック」など、会議の見える化に効果的な手法を学ぶ
- 6 参加者 23 名
- 7 実施内容

○開会

「会議の見える化」に効果的な手法を学ぶ



○講師紹介

株式会社わらびの 代表取締役
畠中 智子さん



○似顔絵他己紹介

➤手順

- ①参加者を6人か8人ずつのグループに分けます。
- ②手づくりのインタビューシートを作成します。(3つの質問項目を書き入れる)
- ③向かい合わせの人とペアになります。
- ④シートの裏面にお互いの似顔絵を描きます。(手元を見ずに30秒で)
- ⑤3分ずつでインタビューし、相手が話したことを記録します。
- ⑥グループ内で1分ずつ他己紹介します。



➤最初の段階で取り入れることにより場が和み、インタビューにより参加者それぞれの想いを引き出すこともできます。



➤全体で自分の話をするのは難しいですが、相手のことであれば一生懸命に話をします。

○まずは「見える化」をやってみよう

➤「まちづくりの魅力とまちづくりで困っていること」というテーマでグループごとに話し合いました。
出た意見などは付せんを書いて模造紙に貼り出しました。



➤出た意見などを付せんを書いて貼り出すことにより、発言の機会の平等性が得られるとともに、多様な意見の存在に気付くことができます。



○事例の紹介

➤実際に畠中さんが関わった話し合いで、内容を「見える化」した時の模造紙が紹介されました。

➤「見える化」による利点

- ・水性マーカーと模造紙さえあればどこでもできる。(畠中さんは、飲み会などの時にも持って行くそうです)
- ・参加者の共通理解を深めながら、話し合いを進めることができる。
- ・いろんなテクニックを使うことにより視覚にうったえ、記憶に残りやすい。
- ・模造紙を保管しておけば、後で見返すことにより内容を思い出せる。



○ファシリテーション・グラフィックのテクニック

➤ファシリテーション・グラフィックとは？

意見のありようを視覚的に確認するための手法です。話し合いの現在地と行き先がひと目で確認でき、参加者の共通理解が進みます。

➤模造紙を壁に貼って、それぞれマーカーで実際に書いてみながら、いろんなテクニックを教わりました。

- ・マーカーの持ち方
- ・色づかいによる意味付け
- ・文字の大きさの工夫
- ・矢印の種類
- ・文字、図形、アイコンの使い方
- ・書き終わった模造紙の保管方法 など



〇とことん Q&A

➢「畠中さんに聞いてみたいこと」というテーマでグループごとに話し合って模造紙にまとめ、出てきた質問に畠中さんが答えました。

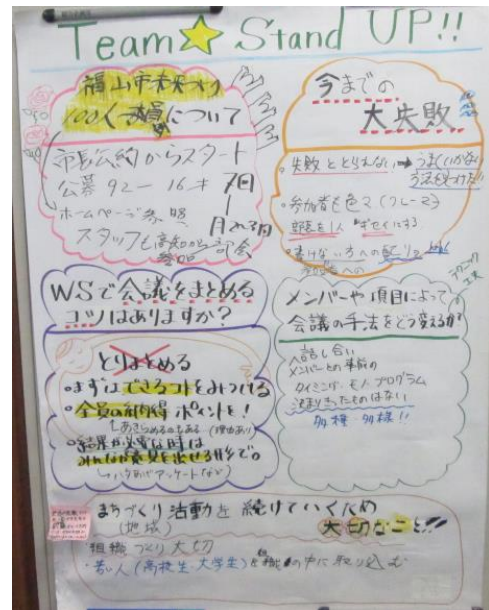


➢畠中さんが答えた内容は、講座で学んだテクニック等を活用し、それぞれのグループで模造紙に書き込んで「見える化」しました。



➢出た質問と畠中さんの答えの一部をご紹介します。

- ・会議をまとめるためのコツは？
→まずはそれぞれが「できること」を見つけていることが大事。理由付きの「諦める」という選択肢があることも含め、全員が納得できるポイントを探す。



- ・今までの大失敗は？
→「失敗」と捉えずに「上手くいかない方法が見つかった」と考え、次に活かすようにしている。

- ・まちづくりを継続していくために大切なことは？

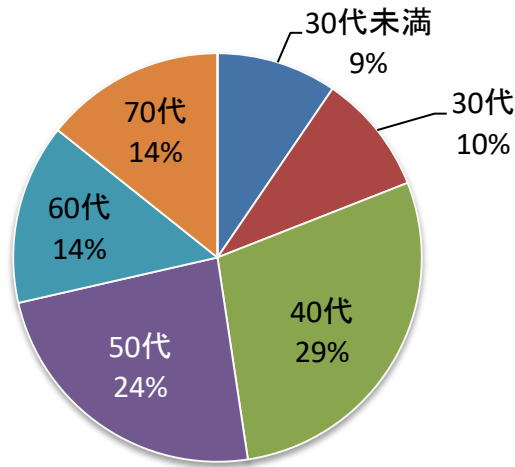
→まずはしっかりと組織づくりが大切。若い人(高校生や大学生など)に参加してもらおうと、長く続く組織になる。

・・・などなど

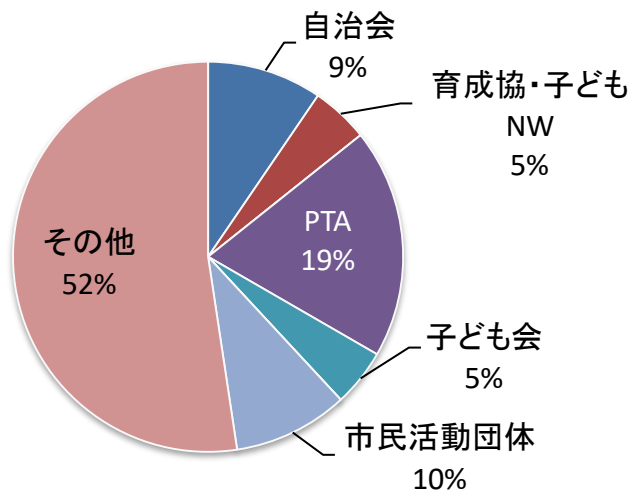
8 アンケート結果

別紙「アンケート結果」参照

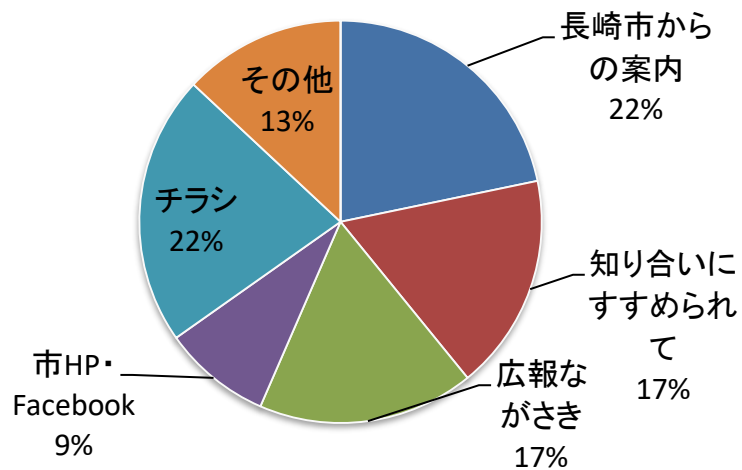
参加者 年代比率



参加者 団体比率

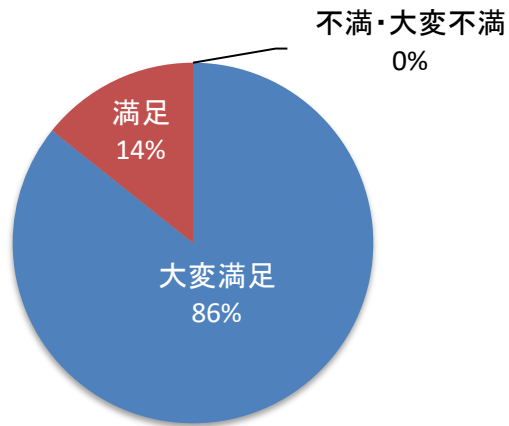


1 本日はどのようなきっかけでご来場されましたか？（複数可）

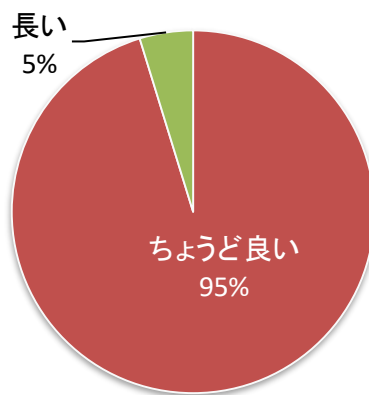


2 本日の講座の評価について、当てはまるものを選んでください。

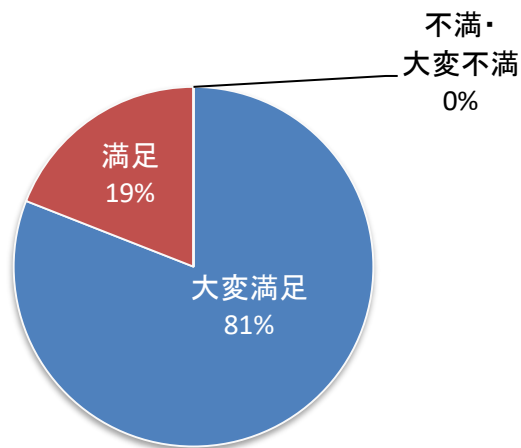
(1) 講座内容について



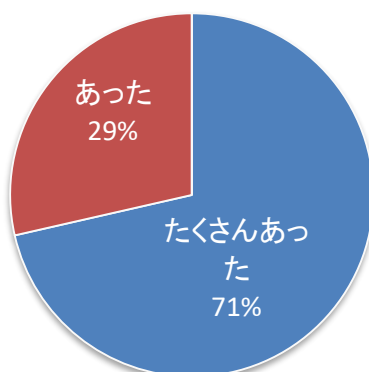
(2) 時間配分について



(3) 全体的に



3 新たな発見や活動の参考になることはありましたか？



3 新たな発見や活動の参考になったこと（自由記述）

内容
「補足」のふせん、枠をかこむこと。ペンの色の使い方、ペンの書き方
・気軽に参加できる会議、ワークショップの進め方、つくり方 ・ワークショップの雰囲気づくり等
手法の違い
具体的な会議の見える化、模造紙の使い方など
・視覚の効果、色の効果、結界をはる意味でのワク引き等、今後にとっても活かせそうです。 ・緊張の対扱法「あなたの一番知りたいこと」を大切にしている。なるほど！！と感じました。もっと高校生を参加させると絶対良い！
講師の人間性があふれ出た時間でした。非常に楽しく、思ったより楽しく学べました。有難うございました。
会議の見える化で、記録の効果的な方法を学んだ。うまくいかない事もあるが、失敗ではなく、うまくいかない方法を見つけたという考えを持つ事は、非常によい考えと思った。
ワークショップの進め方
参加メンバーが意見の方向を確認出来る所がすごい
WS、テクニックから考え方(失敗ではなく、うまくいかないことを発見した)
模造紙に箱をおく、色の使い分け、ふき出し、アイコン使うetc
前回は参加をしており、今回は復習のつもりで参加したが、会議の進め方で忘れていた部分もあったため、改めて生かしたいと思った。
模造紙の使い方、ワークショップでの手法 失敗を「うまくいかない方法が見つかった」ととらえるポジティブさ
会議の進め方、楽しく意見が出やすい方法の具体的な手法が分かりやすく実践したい内容でした
・つぶやきは育っていくものなんだなあ ・みなさん同じような事を想っていた ・新しい視点を気づかせてくれた
会議での色々な意見の吸い上げ方
模造紙の書き方、使い方次第でこれまでとは全然ちがった会議ができると実感した。
見える化会議は何か入口に立てたかな？ ”反対意見も意見”が納得
「会議の見える化」について、模造紙やカードを使っていく手法を学ぶことができ、有意義だった
色の使い方、進行のすすめ方
参加者全員の意見を聞けること

4 今後学んでみたいこと（自由記述）

内容
1ペーパー資料作成、広報について、ホワイトボードミーティング
地域を支える活動に向けて機運を高めることから、WSを通じた計画づくりそして、計画（アイデアを含む）に基づく取組の実践に向けてどう動くか
ファシリテーターのスキル
講義内容のまとめ方を学びたいと思っています。
いかに地域の人に参加してもらうかを考えていきたい。人材不足で一人に負担がかかりすぎているので、その解消法も学んでみたい。
楽しく進めていくこと
組織のつくり方（コミュニティ協議会）
自分のまちにあった仕組みづくりとは、何かかもやっとしている。そのへんをイメージできる説明会に参加したい。
具体的手法
地元の方々との懇親会などのときに今回の件を生かしたいと思った。コーディネートについて考える。
ワークショップの進め方の手法など今回のような講座はまちづくりに限らず生かせるので機会があれば参加したい
皆の前で話したり、発表するのが大の苦手なので困らず楽に話せる講座を是非！！
地域の方が興味を持ってくれるようなアピールの仕方など
長崎市、長崎県がそれぞれの行政区の中でやっていることのアピールが欲しい。又、地域情報の有効な発信の仕方
会議の進め方やうまくいかなかったときの対応など学んでいきたい
まず、1から！人集めは無理をせず、減らさない
「意見のまとめ方」について事例などを聞きながら、コツを知りたい
書記のとり方（速記等）

5 その他、ご意見・ご要望、感想など（自由記述）

内容
ありがとうございました
楽しかったです
ありがとうございました。感謝！心が軽くなりました。
たいへん楽しく学ぶことができました。ありがとうございました。
・考え方をもっとやわらかくすると話し合いが有意義になる。 ・模造紙、ふせん、白のガムテープを必需品に！
たのしい時間がすごせました。ありがとうございました。
楽しく学べて、参加してよかったです。
全国の様々な活動家(講師)をよんでほしい
大満足でした。ありがとうございます！